



自動体外式除細動器

## 九州産交グループ貸切バスにAED(自動体外式除細動器)を全車両に搭載します。

九州産交グループでは、平成24年7月1日(日)から所有する貸切バス(81台)すべての車両にAED(自動体外式除細動器)を搭載します。今回、搭載致しますAEDは、一般の方や当社の従業員が使用することを想定して、使いやすさを重視したAEDを導入致しました。導入に際しては、運転士やバスガイドの乗務員の他、貸切事業に携わる全従業員がAEDの取り扱いについての説明を受け、万が一のときの対応をいたします。

さらに、専門家の講師による救命講習を受講し、10月の修学旅行シーズンまでに全員が修了証を手にする予定です。これにより、AEDの操作だけでなく、人工呼吸、応急手当、救命処置の基礎的対応ができる体制を整え、安心して貸切バスをご利用いただける環境を創ります。

各地の観光地や施設を移動することの多い貸切バスは車中で過ごす時間が多く、心停止などが発生した場合、慣れない土地でAEDを探す時間等を考えたとき、救命対応が施しにくい状況にありました。今回導入により、旅行ツアーや近年多くなってきたスポーツ関連の団体など貸切バスをご利用になる方や、観光施設などでの万が一の事態にも救急車がたどり着くまでの時間での対応が可能となりました。「もしもの時にも、お役に立ちたい」という九州産交グループの「安全・安心の提供」を込めて、また社会貢献の一助になればと考え、導入に踏み切りました。